

3色ピーマンの試験が始まりました！



写真1 着色した3色の果実



写真2 3色で1セットの荷姿



写真3 試験栽培中の3色ピーマン

高知県の嶺北地域では新たな品目として、3色ピーマン（愛称:彩どりピーマン）の栽培が行われています。3色ピーマンは、赤色、黄色、橙色の果実の中型パプリカで（写真1）、3色を1袋にして販売しています（写真2）。各果実は70～100gの重さが主で、大きすぎず、家庭でも使いきりやすいサイズです。果実はピーマン臭が少なく、肉厚で甘く、彩りがよく、今後の消費拡大も期待できる品目です。

しかし、新しい品目なので、生育特性がよくわからず、栽培技術がまだ確立されて

いません。また、栽培農家の圃場では、青枯病が発生しているところがあり、その対策も求められています。

そこで、山間試験室では、今年から3色ピーマンの試験を始めました（試験期間：平成23～25年）。3色ピーマンに適した青枯病抵抗性台木を選び、生育特性を把握するとともに適正な栽植密度を検討し、品質のよい、中山間地域に適した多収栽培技術の確立を目指しています。

（山間試験室 児玉幸信 0887-72-0058）